

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期かほく市創生総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

石川県かほく市

3 地域再生計画の区域

石川県かほく市の全域

4 地域再生計画の目標

かほく市は「平成の大合併」により旧高松町、七塚町、宇ノ気町の3町が合併し、2004年3月に誕生した市で、石川県のほぼ中央に位置している。

県都金沢市からは通勤圏内である車で約20分の距離にあり、国道159号をはじめ、金沢と能登を結ぶ自動車専用道路「のと里山海道」のインターチェンジを3箇所所有するなど、交通アクセスに優れている。また、北陸新幹線が2015年3月に金沢開業し、首都圏とのアクセス性が飛躍的に向上している中、2023年には金沢から敦賀までの延伸が予定されており、関西方面からの交通アクセスの充実も見込まれる。

全国的に人口減少が進んでいる中、本市の人口は合併時点の35,455人からほぼ横ばいで推移していたが、市の定住促進施策である「若者マイホーム取得奨励金」、「新婚さん住まい応援事業補助金」等の各種取組により2015年度からは若干の上昇に転じており、2020年4月末時点では35,650人となっている。しかし、国立社会保障・人口問題研究所（2018年推計）によれば、2060年には約24,000人となり、2020年4月末比で総人口が約32%減となる見込みである。

現在は人口減少に歯止めがかかっている状況ではあるものの、今後本市が人口減少時代を迎えると、まちの活力やしごと、ひとの流れの減退や、地域コミュニティの希薄化や行政サービスの空洞化等が懸念される。

そこで、かほく市が将来にわたって持続的に発展していけるよう、次の5つの

基本目標に基づいて具体的な事業を実施し、「まち・ひと・しごと」の充実を図っていく。

- ・基本目標 1 かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする
- ・基本目標 2 かほく市に新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 安心して暮らすことができる、魅力あるかほく市をつくる
- ・基本目標 5 かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	企業誘致件数 (2020～2024年度累計)	—	3件	基本目標 1
	かほく市に立地している企業の製造品出荷額	1,204億円	1,320億円	
イ	社会増減数 (転入者数－転出者数)	+148人	+150人	基本目標 2
	かほく市観光入込客数	635,624人	700,000人	
ウ	かほく市における出生数	313人	310人	基本目標 3
エ	かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 (アンケート調査結果)	75%	80%	基本目標 4
オ	西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数	398,949人	443,000人	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期かほく市創生総合戦略推進計画

ア かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする事業

イ かほく市に新しいひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 安心して暮らすことができる、魅力あるかほく市をつくる事業

オ かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる事業

② 事業の内容

ア かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする事業

これまで地域を支えてきた地場産業のさらなる育成・支援や、新たな企業誘致や新規創業の誘導とともに、働く人材の確保や育成を図り、本市における安定した雇用の創出と安心して働ける環境の充実を図る事業

【具体的な事業】

・企業誘致による成長の持続

企業誘致の推進、創業支援、空き家空き店舗の活用 等

・地場産業の成長の戦略化

農産物ブランド化、5G整備助成等の中小企業支援、担い手育成支援等

イ かほく市に新しいひとの流れをつくる事業

交流人口及び関係人口の増加に努め、市との縁を大切につないでいくとともに、移住や定住に対する様々なサポート体制の充実などの市の良さを市外の方に広く知ってもらうなどの取り組みを推進し、未来のかほく市を支える定住人口の確保を図る事業

【具体的な事業】

・かほく市とのつながりの構築

観光の振興、関係人口の創出、ふるさと納税制度の推進 等

- ・子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進

移住・定住支援事業、シティープロモーションによるPR、普通財産の分譲 等

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

子どもが欲しいと希望する人の願いを叶えるとともに、子どもたちが健全に成長することができる場の提供や、妊娠・出産から子育て、教育に至るまで、切れ目のないサポート体制の充実など、様々な施策を推進する事業

【具体的な事業】

- ・安心して子育てできるサポート体制の充実
妊娠・出産・子育て環境の充実、男女共同参画支援 等
- ・きめ細かな学校教育体制の推進

小学校35人以下学級の実施、学校を核とした地域活力向上事業 等

エ 安心して暮らすことができる、魅力あるかほく市をつくる事業

防災や情報技術を導入した安全で便利なまちの形成のみならず、市民の健康づくりや生きがいくくり、地域のスポーツ振興・スポーツの拠点整備などを通じ、魅力ある「まち」の充実と形成を図る事業

【具体的な事業】

- ・住みよいまちの創造
国土強靱化の着実な遂行、広域連携の推進、公共交通の充実 等
- ・市民の健康と生きがいの創造
市民の健康と「健康なまち」づくり、高齢者の生きがいくくり 等
- ・スポーツ文化の創造
市総合体育館の整備を核としたスポーツ環境づくり 等

オ かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる事業

西田幾多郎記念哲学館や石川県立看護大学、そして南部交流ゾーンにおける広域商業機能の充実、北部交流ゾーンにおける道の駅高松やレクリエーション機能の充実を図るなど、かほく市の活性化拠点づくりを進める事業

【具体的な事業】

- ・かほく市の特色を活かした地域の活性化

西田幾多郎記念哲学館の充実、北部交流ゾーンにおける賑わい創出、南部交流ゾーンの広域商業機能や交流機能の集積・強化、石川県立看護大学等との連携による地方創生推進 等

※ なお、詳細は第2期かほく市総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

8,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

【評価の手法】

事業実施内容及びK P Iの実績値を公表する。また、外部有識者で構成する「かほく市創生総合戦略推進計画事業に係る外部評価委員会」（以下「外部評価委員会」という。）及び市議会から意見を頂きながら、かほく市創生総合戦略推進本部において検証し、目標実現に向けて事業手法の改善を図ることとする。

【評価の時期及び内容】

毎年度10月に行っている外部評価委員会において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

【公表の方法】

目標の達成状況については、検証後速やかにかほく市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで